



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 WDBホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2475 URL <https://www.wdbhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野敏光
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大塚美樹 TEL 079-287-0111
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	23,712	2.1	2,848	△12.9	2,891	△12.5	1,697	△16.8
2022年3月期第2四半期	23,235	7.6	3,270	29.3	3,304	29.5	2,038	23.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,903百万円 (△12.6%) 2022年3月期第2四半期 2,179百万円 (30.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	85.97	—
2022年3月期第2四半期	103.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	34,781	27,077	75.6
2022年3月期	33,828	25,796	74.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 26,310百万円 2022年3月期 25,113百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	19.50	—	30.00	49.50
2023年3月期	—	20.50	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	31.00	51.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,249	0.8	5,083	△19.5	5,083	△20.5	3,277	△21.4	166.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	20,060,000株	2022年3月期	20,060,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	320,909株	2022年3月期	320,866株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	19,739,112株	2022年3月期2Q	19,739,155株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、引き続きコロナウイルス感染症による影響を受けているものの、ワクチンおよび感染防止策の浸透により、当社グループが行っている事業への影響は軽微に留まりました。

厚生労働省が発表した有効求人倍率(季節調整値)は、2022年4月～9月の平均値が1.28倍となり、2021年4月～9月の平均値と比べ、0.15ポイント上昇いたしました。また、総務省が発表した完全失業率(季節調整値)は、2022年4月～9月の平均値が2.6%となり、2021年4月～9月の平均値と比べ、0.2ポイント低下いたしました。前年の同期間と比較して、求人数が増加、失業率が低下しており、人材獲得の難易度は高まっております。なお、当社グループの主要顧客である、医薬品・化学・食品メーカーなどの研究所・品質管理部門および、大学・公的機関の研究所からの新規の派遣依頼および受注数については、昨年をやや上回る水準で推移いたしました。

人材サービス事業においては、2022年5月13日に発表した中長期経営計画に基づき、社員の待遇改善に着手いたしました。現在就業中の派遣社員に対しては2022年7月より報酬改定を行い、新規の派遣依頼については改定した報酬に基づいて求人募集活動を行っております。この取り組みを行うことで、新規登録者の増加および、現在就業中の派遣社員の退職率低下を目指します。あわせて、派遣社員以外の当社グループ従業員についても、4月より報酬のベースアップを実施し、優秀な人材の確保に努めております。また、派遣サービスプラットフォーム「ドコニコ」については、改良に向けた開発および顧客・見込み客・派遣社員への浸透活動を進めるとともに、ドコニコによる業務効率化の効果を最大限に発揮できるよう、営業組織の再編にも着手いたしました。

(中長期経営計画 <https://www.wdbhd.co.jp/assets/pdf/ir/about/management-policy220513.pdf>)

CRO事業についても、人材サービス事業と同様に、プラットフォームを通じたサービスを行えるよう、開発を進めております。

以上のような活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、23,712百万円(前年同期比2.1%増)となりました。営業利益は、2,848百万円(前年同期比12.9%減)、経常利益は、2,891百万円(前年同期比12.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,697百万円(前年同期比16.8%減)となりました。また、当社が重視している指標である売上高経常利益率は、12.2%(前年同期は14.2%)となりました。減益となった主な理由は、派遣社員の待遇改善を行ったことにより、売上原価が増加したためであります。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

(注) セグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額であります。

① 人材サービス事業

当セグメントの売上高は、20,389百万円(前年同期比1.9%増)となりました。また、セグメント利益は、2,529百万円(前年同期比11.3%減)となりました。減益となった主な理由は、派遣社員の待遇改善を行ったことにより、売上原価が増加したためであります。

② CRO事業

当セグメントの売上高は、3,323百万円(前年同期比7.5%増)となりました。また、セグメント利益は、574百万円(前年同期比3.2%減)となりました。増収減益となった主な理由は、WDBココにおいて、今後に向けての投資を行いコストが増加したことと、アメリカでの業績が振るわなかったこととあります。なお、フィンランドの子会社については、ウクライナ情勢の影響が懸念されるものの、現状では事業への影響はありません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態について、総資産は34,781百万円(前連結会計年度末比952百万円増)となりました。負債は、7,704百万円(前連結会計年度末比327百万円減)となりました。また、純資産は、27,077百万円(前連結会計年度末比1,280百万円増)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、17,253百万円(前年同期比2,337百万円減)となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,630百万円の収入(前年同期比281百万円の収入増)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益2,825百万円を計上した一方、法人税等の支払額が1,165百万円となったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、207百万円の支出(前年同期比440百万円の支出減)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が、144百万円となったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、634百万円の支出(前年同期比152百万円の支出増)となりました。これは、主に配当金の支払額が591百万円となったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想および配当について、2022年5月13日に発表した業績予想からの変更はありません。当社グループとしては、当第2四半期連結会計期間末の状況が当面続くと想定し、業績を見通しております。今後、状況が大きく変わり、業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,426,445	17,253,694
売掛金及び契約資産	6,045,337	6,074,553
棚卸資産	38,094	59,951
その他	585,117	634,929
流動資産合計	23,094,995	24,023,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,489,203	1,460,355
土地	6,798,672	6,787,415
その他(純額)	310,682	381,145
有形固定資産合計	8,598,558	8,628,916
無形固定資産		
のれん	95,610	—
その他	63,015	78,625
無形固定資産合計	158,626	78,625
投資その他の資産		
投資有価証券	91,343	94,168
敷金及び保証金	779,735	822,404
繰延税金資産	819,007	839,996
その他	286,204	294,150
投資その他の資産合計	1,976,291	2,050,720
固定資産合計	10,733,476	10,758,262
資産合計	33,828,472	34,781,391
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,239,785	2,163,541
未払金	357,265	217,989
未払法人税等	1,238,007	1,146,779
未払消費税等	857,341	738,599
賞与引当金	700,325	801,400
その他	1,167,653	1,123,266
流動負債合計	6,560,379	6,191,576
固定負債		
役員退職慰労引当金	486,950	499,007
退職給付に係る負債	493,321	509,943
資産除去債務	268,673	272,501
その他	222,720	231,145
固定負債合計	1,471,665	1,512,596
負債合計	8,032,044	7,704,173

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	669,833	669,833
利益剰余金	24,505,499	25,610,381
自己株式	△1,018,690	△1,018,790
株主資本合計	25,156,642	26,261,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,693	17,654
為替換算調整勘定	24,654	101,929
退職給付に係る調整累計額	△83,870	△70,406
その他の包括利益累計額合計	△43,522	49,177
非支配株主持分	683,307	766,617
純資産合計	25,796,427	27,077,218
負債純資産合計	33,828,472	34,781,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	23,235,419	23,712,855
売上原価	16,929,348	17,636,798
売上総利益	6,306,071	6,076,056
販売費及び一般管理費	3,035,544	3,227,089
営業利益	3,270,526	2,848,967
営業外収益		
保険解約返戻金	4,860	—
助成金収入	5,589	39,751
消費税等免税益	20,122	900
その他	8,703	4,477
営業外収益合計	39,275	45,129
営業外費用		
為替差損	—	1,497
その他	4,824	887
営業外費用合計	4,824	2,385
経常利益	3,304,977	2,891,711
特別利益		
固定資産売却益	—	427
特別利益合計	—	427
特別損失		
固定資産売却損	—	5,720
固定資産除却損	10,709	1,028
減損損失	—	59,785
特別損失合計	10,709	66,534
税金等調整前四半期純利益	3,294,267	2,825,603
法人税、住民税及び事業税	1,154,572	1,042,287
法人税等調整額	△8,818	△26,602
法人税等合計	1,145,754	1,015,685
四半期純利益	2,148,513	1,809,918
非支配株主に帰属する四半期純利益	109,589	112,862
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,038,924	1,697,055

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	2,148,513	1,809,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△492	1,961
為替換算調整勘定	28,982	77,274
退職給付に係る調整額	2,109	14,358
その他の包括利益合計	30,599	93,593
四半期包括利益	2,179,113	1,903,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,069,508	1,789,755
非支配株主に係る四半期包括利益	109,604	113,756

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,294,267	2,825,603
減価償却費	108,883	110,640
のれん償却額	55,653	41,806
減損損失	—	59,785
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△242	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	125,118	101,074
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	11,987	12,056
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	26,353	37,317
受取利息及び受取配当金	△1,003	△953
支払利息	104	114
保険解約返戻金 (△は益)	△4,860	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	5,293
有形固定資産除却損	10,709	1,028
売上債権の増減額 (△は増加)	△61,113	11,359
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△14,556	△18,862
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△38,381	△20,636
仕入債務の増減額 (△は減少)	△166,832	△89,728
未払金の増減額 (△は減少)	△422,378	△123,986
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△294,985	△110,623
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	11,560	△52,643
その他	△16,731	6,517
小計	2,623,553	2,795,164
利息及び配当金の受取額	1,003	953
利息の支払額	△104	△114
法人税等の支払額	△1,275,741	△1,165,983
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,348,711	1,630,020
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	47,237	—
有形固定資産の取得による支出	△670,838	△144,182
有形固定資産の売却による収入	—	6,470
無形固定資産の取得による支出	△8,572	△20,371
資産除去債務の履行による支出	△6,630	—
敷金の差入による支出	△22,310	△44,533
敷金の回収による収入	3,776	3,094
保険積立金の払戻による収入	10,144	—
その他	△442	△7,847
投資活動によるキャッシュ・フロー	△647,637	△207,368

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△13,001	△15,702
配当金の支払額	△443,869	△591,624
非支配株主への配当金の支払額	△25,692	△30,447
自己株式の取得による支出	△91	△100
子会社の自己株式の取得による支出	△140	—
その他	—	2,933
財務活動によるキャッシュ・フロー	△482,795	△634,941
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,379	39,538
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	230,658	827,249
現金及び現金同等物の期首残高	19,360,521	16,426,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,591,180	17,253,694

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	人材サービス 事業	CRO事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,008,600	3,092,620	23,101,221	134,198	23,235,419
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41,657	—	41,657	—	41,657
計	20,050,258	3,092,620	23,142,878	134,198	23,277,077
セグメント利益	2,850,500	592,927	3,443,428	5,178	3,448,606

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガスインジェクション装置等やパイオ関連機器の開発製造事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,443,428
「その他」の区分の利益	5,178
全社費用(注)	△178,079
四半期連結損益計算書の営業利益	3,270,526

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位:千円)

		顧客との契約から 生じる収益	計
報告セグメント	人材サービス事業	人材派遣	19,655,995
		人材紹介	352,605
	CRO事業	国内会社	1,947,052
		海外会社	1,145,567
報告セグメント計			23,101,221
その他(注)			134,198
合計			23,235,419

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ガスインジェクション装置等やパイオ関連機器の開発製造事業を含んでおります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	人材サービス事業	CRO事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	20,389,139	3,323,715	23,712,855	23,712,855
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,552	-	21,552	21,552
計	20,410,692	3,323,715	23,734,407	23,734,407
セグメント利益	2,529,676	574,057	3,103,734	3,103,734

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,103,734
全社費用（注）	△254,767
四半期連結損益計算書の営業利益	2,848,967

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「CRO事業」セグメントにおいて、DZS Clinical Services, Inc.の業績が買収当初に見込んでいた事業計画を下回る見込みであることから、当該のれんについて59,785千円の減損損失を計上しております。

4. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：千円)

		顧客との契約から生じる収益	計
報告セグメント	人材サービス事業	人材派遣	20,013,668
		人材紹介	375,471
	CRO事業	国内会社	2,194,314
		海外会社	1,129,401
報告セグメント計			23,712,855
合計			23,712,855